

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大正製薬株式会社	事業所名	大宮工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001取得や、グリーン経営認証の取得をしている事業者がある。			○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	関東運輸局へのエネルギー使用の合理化に関する定期報告・中長期計画書の提出(定期報告書は毎年提出)している事業者がある。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ----- ()	大宮→広島間について、トラックから海上輸送へのシフトを継続、推進する。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	改正省エネ法施行以降捉えている。(平成29年度実績:6,552(t))			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	商品に応じた詰合せ箱の採用を進めている。(小型化)			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	貨物輸送事業者に対し、2t・4t・大型車を荷量に合わせて使用するよう依頼している。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	得意先への配送では路線便(積合せ輸送)を実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	CNG車、ハイブリッド車の導入を進めている事業者もある。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	貨物輸送事業者にはエコドライブの推進をお願いしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	1日に数回に分けて発注データを受信、配送時間を定め納品している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	輸送量の7割を占める拠点輸送については、定期発注、定期納品を実施。 緊急品がある場合は通常品との入れ替えを行い輸送している。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	必要に応じて、納品先までの輸送手段や経路の見直しを行い、輸送の効率化に努めている。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	定期的にミーティングを開催し、情報の共有化を図っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	周辺道路での路上駐停車の禁止を通告し、時間前に到着した場合は敷地内のトラック駐車場で待機するよう依頼している。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	新しく開通した高速道路等の利用による、輸送距離の短縮について協力を依頼	○	○	○